

平成30年10月21日執行

一宮町議会議員一般選挙公報

一宮町選挙管理委員会

さらに全力！

私は二期八年間、町長の行政運営が正しく行われているかを常に確認し、問題点があれば改善は正を求めて参りました。

しかし、急激に進む社会環境の変化のなかで多くの課題が町には残されています。これまで以上のスピード感を持って取り組まなければなりません。そこで、次の事項に取り組みます。

第一に、道路整備を推進します。県道南総一宮線（市街地から10区）を国道128号に早期に接続させ、これに町道が乗入れることにより、避難道路としての役割を持たせる。また現在は、大型観光バスが睦沢方面から町に乗入ができないが解消する。

第二に、医療の確保を求めます。町の属する山武長生夷隅医療圏では分娩施設の数が人口10万人あたり1.1箇所と県内9地区ある医療圏の中で最低です。長生病院に産科を設置し、安心して子供の産める環境を整える。また、千葉県循環器病センター（鶴舞病院）は存続が危ぶまれている、心筋梗塞・脳卒中など重篤な救急患者の受け入れ病院として存続を求める。

第三に、農業を支援します。現在の農業が抱える問題は、後継者の育成・農業全体の衰退・農業者の高齢化・兼業農家の将来性・水路ため池の維持などが考えられます。そこで、国・県と連携し、改善策を提示する。

昭和38年5月一宮町東浪見生まれ / 一宮商業高校卒業
現 一宮町議会議員2期 / 現 一宮町遺族会副会長
現 一宮町シルバー人材センター運営委員長
元 新熊・岩切消防団部長 / 元 一宮町青少年相談員
元 第三次千葉県障害者計画推進作業部会委員



うざわ
一男
かずお
55歳

私は、以下のような活動に取り組みます。

安全・安心の町 … 防災とインフラ整備

- ① 避難路の整備（東西方向内陸部へつなぐ道路は生活や観光などにも役立ちます）。
- ② 津波避難施設（九十九里沿岸自治体では一宮町の取り組みは最も遅れています）。
- ③ 生活インフラの整備充実（排水施設の整備等は災害対策面でも重要度が増します）。



とうじょう
藤乘
一由
かずよし

子育て・教育環境の充実

- ① 芸術・スポーツ・PC関連などで特色を活かす教育。
- ② 幼児期から、自然・歴史・文化・産業にふれる教育。
- ③ 多様なニーズに対し、子育て環境整備と支援を強化。

自然環境・生活環境の整備・保全

- ① 自然環境を整備、保全し、憩いの場、観光、教育に役立てる。
- ② 里山・海岸・一宮川を協働で整備する仕組みづくり。
- ③ 住みよい、暮らしやすい環境をつくり、守る。

少子高齢化、人口減少を迎えた現在、移住定住促進も重要な課題ですが、行政は、周辺自治体とも連携・協力し、住民との協働により、子供達には、地域を大切に支えたいと思えるような心を育み、高齢者が生き生きと活躍し、互いに地域を支える仕組みづくりが必要です。

みんなの想いをみんなと共に！

1. みんなが安心・安全なまちづくり

- ① 津波対策として海岸～丘陵への東西の避難路の確保と効率的な避難訓練の実施
- ② 緊急時対応として南消防署の早期移設実現と付設の常設ヘリポートの建設

2. みんなが誇れる新旧観光施設の充実と連携

- ① オリンピック後のサーフィン環境を軸とした海岸インフラ施設の充実
- ② 歴史・文化の象徴である玉前神社を軸とした寺社町の充実と連携

3. みんなが主役の農業振興

- ① みんなが誇れる地域ブランドの充実化
- ② 新たな販売方法・販路への挑戦

4. みんなが健康で楽しく歩く道づくり

- ① お年寄りや子どもが安心して健康に歩ける歩道の設置
- ② 楽しく歩ける散歩ルートの設定

5. みんなで活動できる区の再編

- ① 世帯数の多くなった区の細分化
- ② 細分化による区の活性化

長い行政経験を活かし、みなさんの意見や要望を届けるメッセンジャーとして働きさせていただきたいと考えております。
是非、みなさんのご意見がございましたらお聞かせ頂き、町に提案してまいりたいと考えております。



小関
よしあき
かぜき

経験を生かして活動します！



住んでいて良かった
この町に生まれて良かつた
この町に移り住んで良かつた
そんな町にしたいんです

- 歴史文化を観光資源とした町の活性化
- 人材を育てる文化事業の開催
- サーフタウンと城下町を融合させたバランスの良い町づくり



無所属
志田 のぶ子

活力のあるまちづくり

◎ 道路網の促進を図ります

国道県道を結ぶ道路の改修をし近隣市町村から進入しやすくなります。

町道の改良をし地域の活性化を進めます。

◎ 災害に強い町道作りを進めます。

身障者・高齢者が災害時に迅速に避難できるよう道路作りをします。

◎ 上総一ノ宮駅東口の早期開設に努力します。

東京オリンピック競技大会に向け協力します。

次世代に贈る町づくりを提案します。

ご協力をお願い申し上げます。



吉野しげのり

皆様と一緒に、着実に、進めましょう
頑張ります
お願い致します
皆様のご協力を

私達の町は首都東京よりJRにて一時間の通勤快速始発二本増発優等列車
羽田発京葉快速の一宮駅への乗り入れ
東京発二十三時の特急わかしお一宮止まりれ
平成三十年今より



ふじいとしのり

- 藤井
としのり
- 昭和21年11月4日生まれ
- 千葉県立一宮商業高等学校卒業
- 平成6年10月 一宮町議会議員初当選
- 現在4期目 副議長

平成30年10月21日執行

一宮町議会議員一般選挙公報

一宮町選挙管理委員会

大切にしたい3つの柱

○ 子ども

『産後ケア』『放課後子ども総合プラン』の事業を提案します。
幼稚教育・保育環境の更なる質の向上と、在宅育児支援の拡充を求める。
安心して子育てできる町、子育てしやすいまちづくりを目指します。

○ 春暮し

小さな自治体ほど、【自助】【共助・互助】【公助】の役割分担、
仕組みづくりが必要です。
この町で、生まれる、育つ、働く、年をとる…、
どの世代の方も、ずっと安心して暮らせるように、地域コミュニティを大切にします。

○ 未来

“今”、この選択が、5年後、10年後の、一宮町を創ります。
オリンピックを見据え、歴史ある上総国一之宮の伝統と文化を守り育んだ熱い想いを受け継ぎ、
新しい風を感じながら、一宮町の未来を、皆様と一緒に考えていきたいと思います。



藤井 幸恵
ふじ ゆきえ

■個人演説会開催日

10月17日(水) 16時～18時 中央公民館1F和室
10月19日(金) 10時～12時 中央公民館1F和室

もっと変えよう! 【住民のための町政を!!】

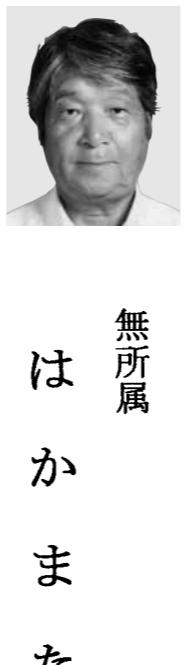
- 議会改革を断行します。
- 税金の無駄遣いを根絶させます。
- 補助金の改革に取り組みます。
- 津波避難タワーの建設により住民を守ります。
- 徹底した情報開示を行います。
- 有効な子育て支援を行います。
- 駅前の渋滞対策を行います。



無所属
おおはし
照雄

- 福祉への提案
- *私も福祉従事者の一人です。考えます福祉政策を。
- *子育て支援サービスの強化
- 高齢者支援は益々必要となります。高齢者だけで生活する空間を多くの人が交わり、活力と喜びの多い福祉政策とサービス強化を図ります。
- 安心安全な防災計画への取り組み
- *安全な避難タワー・築山・避難道路の検討及び推進すること。
- 地域防災組織の強化と公認防災士の養成を図る。
- *子ども、高齢者への交通安全・防犯の意識増進を図る。
- *町内危険箇所の点検整備と交通安全教室の開催。
- 「南消防署」の早期移転を考えての行動
- *この町に住んでいる人達の思いがあります。生命を守る安心安全な南消防署の移転を要望しています。

ー住みやすい町であるための私の提案ー



はかもた 忍
無所属

時代の変化と共に 町も変わる・変える!

食と農を守り育てる 新たな3つの提案をいたします。

提案1

行政主導の下、県、農業者団体、商工組合、町民が協力し、海岸地域に津波避難施設も兼ね備えた、複合施設「道の駅」を新設する。

このことにより、地元住民だけでなく、サーフィンや観光で一宮町を訪れる観光客をターゲットにした、農産物直売所と、カフェや軽食レストランも併設した何度も利用してくれる複合施設を建設する。このことによって一宮町への新たな人の流れをつくり、若者を対象とした新たな雇用の創出を図る。

提案2

町と農業団体が連携し、持続可能な農業基盤を次世代に継承するために、新規就農者の就農支援と若手担い手生産者の営農支援を積極的に展開する。

提案3

地域の未来を担う子供たちに、農業を通じて地元農産物と食の重要性を伝えることで、健全な食生活を実践することができる人間を育成する。そして、健康的な生活を営むという本来人間があるべき姿を取り戻すことによって医療費の削減にも繋げたい。



57歳
かわしろ 茂樹

めざします“豊かな一宮”

一宮町は緑と海と太陽に恵まれた自然と古い歴史のなかで先人が残してくれた多くの伝統・文化を持つ町です。
私は、先人の努力により築いてきたこの町を守り、更なる発展を図るとともに、後世が明るく安心し、誇りを持って生きて行ける町づくりをめざします。

ご支援よろしくお願いします。



小安ひろゆき
こやす ひろゆき
56歳

略歴
昭和37年一宮町東浪見に生まれる。(56歳)
県立長生高校卒 / 東洋大学法学部卒
会社員(コンピュータシステム開発業) 11年勤続
平成8年就農 J.A施設野菜部会
現在 東浪見在住 職業 農業
活動歴
東浪見小学校PTA会長
一宮中学校PTA会長
一宮商業高校PTA会長
一宮中学校代役会長
平成22年一宮町議会議員初当選 現在2期目
一宮町議会 議会運営委員長
総務文教常任副委員長
議会報編集副委員長

市民と野党の共闘で安倍政権退陣!

- 国保・介護保険の負担の軽減
- 県下トップクラスの高いゴミ袋代の値下げ
- 保育料軽減・学校給食の無償化
- お年寄りの足を確保
- (福祉タクシー、新にこにこサービスの充実)
- 観光と地域農業の振興

みなさんと
力あわせ
実現めざします

<経歴>1953年一宮町生まれ。茂原農業高校卒。1978年から一宮町議、現在10期目、経済常任委員。趣味:読書、釣り。住所:一宮町東浪見2732



日本共産党
あきば博敏

平成30年10月21日執行

一宮町議会議員一般選挙公報

一宮町選挙管理委員会

緑と海と太陽 生かし

子ども・若者・お年寄りが元気な一宮に!

市民と野党の共闘で安倍政権退陣!

- 保育料軽減・学校給食の無償化
- 雨水排水など住環境の整備
- 介護保険の負担の軽減
- お年寄りの足を確保
- (福祉タクシー、新規にサービスの充実)
- 県下トップクラスの
- 高いゴミ袋代の値下げ
- みんなと 実現めざします
力あわせ

<経歴>1951年一宮町生まれ。茂原高校卒。1972年明治大学短期大学法律科卒。2014年より一宮町議、現在1期目、厚生常任委員。趣味:読書。住所:一宮445-4



日本共产党
渡辺みえ子

私の議員活動の原点は介護です。4年前にはじめて議会に送っていましたが、みなさまと力を合わせ、特養ホームの新設や小中学校へのエアコン設置など実現することができました。日本共产党の2議席こそ願い実現の確かな力です。再び議会へと送っていただけますよう心よりお願いいたします。

共に創ろう いちのみや

ごあいさつ

私は伊藤操、お力添えくださった皆様に心からお礼を申し上げます。このたびの町議会議員の改選にあたり、ふたたび町政の場において、ふるさと一宮町の限りない前進のため、持てる情熱の全てを傾げ活動して参る所存です。私たちの生まれたふるさと、(一宮町)の地域づくりに挑戦し、ふるさと一宮町の限りない前進のため、いっそうの奮起をもって持てる情熱の全てを傾げ活動して参ります。安らぎ、幸せ、発展、潤い、創造を5つの柱に、(一宮町)を愛する皆で力を合わせ、心強い元気で豊かなふるさとを創造しましょう。

- | | |
|----------------------------------|--|
| 1 安らぎ《安心》
(消防・防災・交通安全) | 4 発展《成長》
(農業・商業・工業) |
| ■消防力の強化
■消防署の整備
■交通安全施設の整備 | ■農産物、ブランド化応援します
■にぎわいを取り戻す
■元気なまちづくり
■補助金
■後継者 |
- | | |
|--------------------------------------|---------------------------|
| 2 幸せ《幸福》
(福祉・健康) | 5 創造《学び》
(学校教育) |
| ■お年寄り、身障者にやさしい
まちづくり
■町民の健康づくり | ■教育環境の充実
■子ども・子育て支援 |
- | | |
|---|--|
| 3 潤い《未来》
(都市基盤整備・生活環境整備) | |
| ■避難道路交通網の整備
■グリーンライン早期実現
■駒ヶ崎オリンピック会場整備 | |



小林まさみつ

一宮町の明るい未来の為に!

4つの柱の実現を目指し、皆が一宮に住んでよかったです。
そして、皆様の声を一つでも多く町政に届けさらに持ち前の行動力を生かして町の活性化の為に渾身の力を尽くす決意であります。
町づくりに努力致します。
どうぞ皆様のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

4つの柱

1. 環境・景観を大切にした町づくり
2. 気候・風土に適した地場産業の確立と振興
3. 伝統文化・新しい文化の架け橋
4. 個性を大切にする子育て環境の充実



鵜沢きよひさ

1 高齢者・障害者への福祉支援の充実

- 人生100年時代への社会保障改革の拡充
- 団塊世代の方の後期高齢者対策
- 障害者、独居高齢者への見守り、福祉事業の拡充

2 子ども子育て支援の充実

- 安心して子どもが生めるよう、経済的負担の軽減を図る
- 0~5歳児全ての幼児教育を無償化及び質の確保
- 子どもたちの教育環境の整備及び安全確保

3 観光と産業の振興

- オリンピックを生かした地域の活性化と「おもてなし」を図る
- 農業、商業、工業の若い担い手を育て、活性化を図る
- 企業誘致をし、地元で働くよう呼び掛ける

4 健康で安心安全に暮らせるまちづくり

- あらゆる年齢層の方が健康で生きがいのあるまちにします
- 防犯と防災強化に努め、生活環境の整備を進める

**0歳から高齢者 すべての方が、
健康で安心・安全に暮らせるまちづくり。**



うのぞわ一夫

◆一宮町の将来を担う子ども達の健全育成と子育てに全面的に支援。
◆高齢者や障害者の福祉支援の充実。

30年前縁あって親(横田善夫・霞)が海岸に家を持ちました。

私自身は15年前に一宮に移り現在、本給に在住しております。

町長選、町議選のお手伝いをしながら自分なりに町について考え時に発言してきました。自分の経験と地方自治にギャップを感じる事も多いのですが、教育、文化(芸術・スポーツ)に関しては特にお役に立てればと日々思っております。

行政の立て前論に科学的・現実的な疑問をぶつけることにより、よりリアルな論議が出来るとも思っております。

皆様と地方行政について論議して大いに町を盛り上げてゆきたいものです。



**岡おか
哲てつ
郎ろう**

略歴

- 1948年 東京都文京区に生まれる。
12才まで桜井霞洞(日本画家)に育てられ、祖父柴田佳石(彫刻家・福澤諭吉・板垣退助像が現存)の下に成人まで育てられる。
1972年 青山学院大学経済学部卒業 専攻 労働経済論 卒業論文「賃金決定論」
大学時代 ソフトテニス、スキーに熱中(40才まで)後草野球を続ける(60才まで)
卒業後、飯田画廊(東京銀座)に入社 カタログ作り、月刊新聞の制作をしていた。
後に営業が主となる。
1988年 飯田画廊を円満退社後、(有)オカ・ファインアーツを設立。
国立西洋美術館の作品購入 評価鑑定委員を委託される。
レンブラント版画展を企画、展開(一宮公民館でも一部展示)
2003年~ 一宮に移り住み、営業活動は以降していません。
テレビ前スポーツ評論家(自称)として弟の娘の新体操(オリンピックに出場)を応援しています。

平成30年10月21日執行

一宮町議会議員一般選挙公報

一宮町選挙管理委員会

わたしの目指す『ふるさと一宮』

- 将来を担う子ども達の教育環境の整備
- 安心安全な暮らしを実現するための生活環境の整備
- 均衡のとれた産業の振興
- 加速する少子高齢化社会への対応



森もり

佐さ
衛え

**防災環境
の充実**

九十九里海岸に面した一宮町は、地震や津波への対応は急務です。海岸浸食も進んでいます。県や国へ強く働きかけ、安心して暮らせる環境づくりを進めます。

**教育環境
の充実**

一宮町の未来を担う子どもたち一人ひとりが、全員安心して楽しく教育を受けることが出来るよう、教育環境の充実に向け、積極的に活動していきます。

**希望の持てる
一宮町の実現に全力で
取り組んで参ります。**



内山くにとし

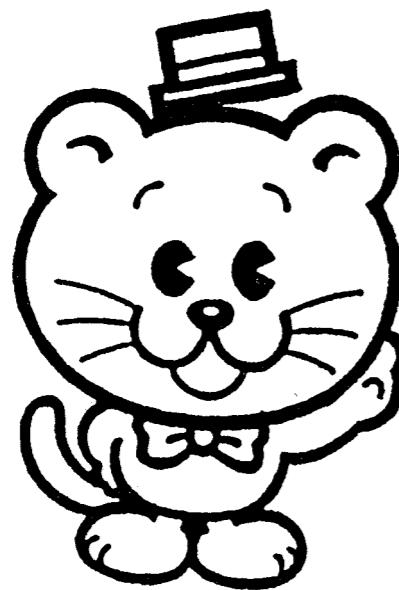
**商店街
の活性化**

玉前神社を重要な観光施設として、歴史と未来が融合するよう市街地域の空き店舗対策や駐車場整備などを進めます。

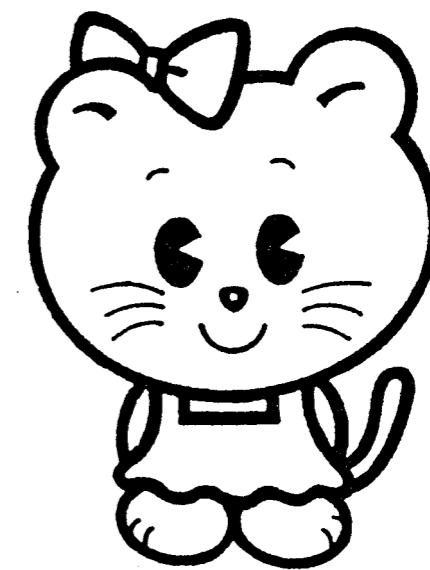


**内山くにとし
プロフィール**

昭和32年3月 一宮町東浪見に生まれる
昭和45年3月 東浪見小学校卒業
昭和48年3月 一宮中学校卒業
昭和50年3月 長南高等学校卒業
平成8年 一宮中学校部活動後援会長
平成13年 一宮中学校PTA会長
平成15年 在 有限会社内山住設 代表取締役
長生郡市管工事協同組合理事長



投票日



10月21日

午前7時から午後8時まで

ご注意

- ◎投票できる方は選挙人名簿に登録されており、かつ選挙の当日一宮町に居住する人です。
- ◎投票所には入場券を、お忘れなくご持参ください。

みんなそろって投票しましょう!!